

いない。



駅前商店街

危機管理システムと 人口減少対応策について

など、助け合いによる共生のスタイルモデルを柔軟かつダイナミックに全国に発信するというビジョン構築の必要性についてたずねる。
市長 ①本市では定住促進を最重点課題と位置づけて、平成21年4月から定住促進センターを設置して、全般的に定住促進施策の取り組みを開始した。

社会動態の減少数は改善

の傾向が表れてきており、ある程度の定住促進施策の効果があつたものと認識している。そして、住宅新築助成金交付事業等の施策では、固定資産税等や市民税の増収が見込まれ、また、新規の宅地分譲地が次々と開発されており、加えて住宅新築に関連する経済効果があるものと考えている。

②笠岡市の抱える大きな問題として一番に挙げられるのが人口減少である。

これは、市のあらゆる分野の収縮を招き、深刻な問題となっている。行政の今までの取り組みの内容とこれからどういう政策を行うのか、実際の効果をどのように想定しているのか。

③福島県をはじめとする被災移住希望者を受け入れ、被災地とのネットワークを活用し、笠岡の物産を二つに合わせて販売提供する

実践に即した命を守る防災訓練について

公明党

金藤照明
者質問
齋藤一信
所属議員

防災・減災地域ニユ ーディール政策について

2つの訓練を相互に活用し、災害に強いまちづくりを目指していきたい。

対策に関する緊急提言を発表した。この政策は、10年間で100兆円を集中投資し、防災設備や社会インフラに対する公共投資を短期集中的に行うことで、働く場をつくり出し、防災対策と経済の活性化を同時になし遂げようとする政策である。

笠岡市の公共施設の老朽化対策を含めた耐震化と防災機能の強化策についてたずねる。

市長 学校施設の耐震化については、年次的な耐震診断と診断内容に即した実施設計、耐震補強工事を継続的に行って、助け合いによる共生を行つた地域密着型訓練を昨年から実施している。この

針を定める。橋梁・港湾施設に関しては、施設の老朽化の現況調査を行つており、将来の施設の長寿命化計画に向けて取り組みを進めている。基幹配水池や終末処理場については、耐震診断とそれに伴う耐震補強工事を進めている。

孤立死の防止について

議員 ①検診受診率向上の

針を定める。橋梁・港湾施設に関しては、施設の老朽化の現況調査を行つており、将来の施設の長寿命化計画に向けて取り組みを進めている。基幹配水池や終末処理場については、耐震診断とそれに伴う耐震補強工事を進めている。

上と小児がん対策について